



JAPAN-AMERICA SOCIETY OF HAWAII

PO Box 1412, Honolulu, HI 96806-1412 • Tel: (808) 524-4450 • Fax: (808) 524-4451 • Email: admin@jashawaii.org

2011年6月1日

ハワイ日米協会、被災地の子どもをハワイに招待する“Rainbow for Japan Kids”プロジェクトを立ち上げ

ホノルルーハワイ日米協会 (Japan-America Society of Hawaii) は、日本航空、ファースト・ハワイアン・バンク、スタジオ・リム・ハワイとのパートナーシップにより、東日本大震災で被災した子どもたちを長期的に支援するための新プロジェクト“Rainbow for Japan Kids”をスタートします。

“Rainbow for Japan Kids”プロジェクトは、ハワイと被災地を虹の橋でつなぎ、震災で心に傷を負った子どもたちをハワイに招待します。そして、ハワイのアロハスピリットで心と体を癒し、様々な体験学習プログラムを通して子どもたちが将来の夢や希望につながる架け橋をつくるお手伝いをします。

ハワイ日米協会会長エド・ホーキンスは次のように述べています。

「震災後、2ヵ月以上にわたり、義援金活動が続ける中、金銭的支援だけでなく、被災した子どもたちをサポートしたいという多くの声が私たちのもとに寄せられました。そしてこの度、ハワイ日米協会とその協賛企業は、ハワイからこぞできる子どもたちへの支援を企画し、長期にわたり継続的に行うことを決めました。日本との絆が強いハワイでは、被災地に物資を届けたり、ホームステイ先を提供するなど、多くの団体や個人がアロハの心を日本に届ける活動を行っています。ハワイ日米協会はこれらの支援活動をサポートすると共に、震災で心身ともに傷ついた子どもたちへ直接手をさしのべるスタイルの新しいプログラムをスタートします。」

ハワイは、恵まれた自然の中で多くの人種や文化が交じり合い、共存する社会です。被災した子どもたちが自然や文化に触れ、ハワイの子どもたちと交流することでアロハを感じ、広い世界に目を向け、夢と希望をもって未来を切り開いていってくれることを期待しています。

“Rainbow for Japan Kids”は、自然体験、文化体験、地元の子どもの交流などを主体とした学習プログラムです。参加者に孤立感を与えないため、宿泊ならびにアクティビティはグループ単位とします。子どもの交流体験の充実と一人ひとりに細部まで目が届くようにするため、参加者は各回約20名とします。ハワイ滞在は10日間前後とします。子どもたちの心身の状態をケアするため、NPO団体“Kids Hurt Too”のプロフェッショナル・カウンセラーが同行します。参加者とハワイ、特に子どもたち同士の交流が未来に向けて繋がり、発展し続けることを目指します。

運営に関しては、特に大きな被害を受けた宮城県で長年子どもの教育支援活動を行っているNPO団体「みやぎびっきの会」とパートナーシップを結び、当プログラムの日本側窓口として提携します。

ハワイ日米協会では、新たに“Rainbow for Japan Kids”プログラムへの寄付金を受け付けています。Aloha for JapanおよびJapanese Red Cross Societyへの寄付受付も継続しますが、受取先が明記されていない場合は当プログラムへの寄付としてお受けします。尚、当プログラムへご寄付いただける際は、チェックの支払先をJapan-America Society of Hawaiiとし、メモ欄または空欄に“Rainbow for Japan Kids”とご明記下さい。

本件に関するお問合せ先: Edwin P. Hawkins ハワイ日米協会会長
Phone: 524-4450
Email: ehawkins@jashawaii.org